

30年度事業報告書

特定非営利活動法人 和泉防災ネットワーク

I 事業期間

30年4月1日～31年3月31日

II 事業の成果

平成30年度は全国的にも大きな災害が発生した年でしたが、6月の大阪北部熊本地震や9月の台風21号による被害は、和泉市民にとって身近で起きた初めての経験といっても過言ではないほどのダメージを受けたことは間違いありません。

私達も前身SVCKの活動の原点であった「もし和泉市で大災害が起きたら」という課題に直面し、想定していたような行動ができなかったことを大きな反省として今後の活動に活かしていきたいと考えております。

上半期は、メンバーの一部が有志で大阪北部地震、西日本豪雨災害、そして和泉市での災害ボランティア活動にも参加し、更なるスキルアップができたと自負しておりますが、その成果が徐々に認められてきたのか、行政や社会福祉協議会からの依頼も増え、人材育成に関わる機会が増えてきました。

年度末には和泉市の委託事業の獲得に成功し、令和元年度は本格的に災害時の支援のための人材育成に取り組んでいくことが可能となりました。

また、長期的視野で考え開始した、地域資源である各種団体の支援（相談業務）も増え、今年度も既に6件と打合せが始まっています。

平時の支援が災害時に役に立つことを信じて、今後も精進して参ります。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 大規模雄災害時に必要な人材育成事業

【実施内容】 ①和泉市職員研修

避難所担当職員に対して避難所運営についての研修依頼があり、HUGを実施しました。地域の方や教職者の方に実施した場合と比べ、一つひとつの対応にまじめに取り組まれるあまり、少しのんびりした研修になりました。

【実施場所】 和泉市コミュニティセンター

【実施日時】 平成29年7月12日（水）

【事業の対象者】 和泉市避難所担当職員

【収入】 30,000円

【支出】 交通費 4,800円 報償費 4,800円

【実施内容】 ②和泉市防災リーダーフォローアップ研修

3回目のフォローアップ研修ということで、今回初めて災害ボランティアセンターの運営シミュレーションを実施しました。災害時防災リーダーは、基本的に避難所や近隣の住民を支援する立場の人が多いため、最初は戸惑っている方もいましたが、災害VCの内容を知っておくことで、避難所との連携がスムーズに行き、結果、受援力（助けられ上手になる）が大きくなることを理解していただきました。

【実施場所】 和泉市コミュニティセンター

【実施日時】 平成29年9月2日（土）

【事業の対象者】 和泉市防災リーダー養成講座受講生 OB

【収入】 30,000 円

【支出】 交通費 13,400 円

【実施内容】 ③和泉市防災リーダー養成講座

例年通り、避難所運営ゲーム（HUG）を実施

【実施場所】 和泉市コミュニティセンター

【実施日時】 平成29年11月25日（土）

【事業の対象者】 和泉市防災リーダー養成講座受講生

【収入】 30,000 円

【支出】 交通費 1,000 円 報償費 4,500 円

【実施内容】 ④桃山学院大学防災講座

大学の事業の一コマとして、防災講演の依頼があり、もし和泉市で（大学に居るときに）大地震が起こった時、どうすればよいか、自分たちに何ができるのかという内容の講演を実施しました、阪神淡路大震災が起きたときに、まだ生まれていなかった世代にあの時の恐怖を理解してもらうのは大変難しいと思いますが、もし大学に被災者が来た時の対応については、関心がありそうでした。

【実施場所】 桃山学院大学

【実施日時】 平成29年12月18日（月）

【事業の対象者】 桃山学院大学の学生

【収入】 30,000 円

【支出】 報償費 4,500 円

(2) 災害時に多様な機関・組織、関係者が、地域や行政と協働、協力して支援する為のネットワークの構築事業

【実施内容】 ①コミュニティカフェオアシスの一角を借りて防災関連の書籍や防災グッズを展示し、いつでも自由に閲覧できるような「和泉防災ネットコーナー」を常設。それに伴い防災相談日を設定（毎月第4金曜日 午後2時～5時）。当法人の活動拠点としても定例会を開催するなどメンバー間の連絡もスムーズに行うことが可能になり、防災・減災の啓発活動として出前講座やイベントにも積極的に参加することができました。

【実施場所】 コミュニティカフェ”オアシス”

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 市民

【収入】 0円

【支出】 会議費 3,500円 交通費 23,000円

【実施内容】 ②和泉市防災ネットワーク設立5周年記念事業

「大災害を共に生き抜く」というタイトルで、大阪府、和泉市、和泉市社協の協力を得て、住民代表（賛助会員）と当法人の5名で、パネルディスカッションを開催しました。29年度は台風の被害が和泉市にもあり、避難所が開設されたこともありみなさんの関心が高かったようで、88名の方に参加していただくことができました。後半の交流会も盛会で、新たなネットワークも広がり、改めて、伝えていく、続けていくことの大切さを感じることができました。

【実施場所】 和泉シティプラザ レセプションホール

【実施日時】 平成30年2月10日（土）

【事業の対象者】 和泉市防災養成講座受講生（卒業生を含む）

【収入】 26,000円

【支出】 消耗品費 58,061円 賃借料 31,300円 広報費 4,200円 通信費 580円
荷造り運賃 710円 支払手数料 216円 交通費 2,300円

(3) 各事業の成果を市民が理解しやすい方法による普及・啓発活動事業

【実施内容】 ① 弥生まつり

昨年に引き続き、NPO法人いずみ太鼓 鼓聖泉より熊本地震の復興チャリティーコンサートで防災コーナーを出展しました。

今年は、防災クイズを中心に啓発活動を実施。舞台では消防のキャラクターケスンジャーとスクイーンと一緒に「〇×クイズ」を実施しました。

【実施場所】 池上曾根遺跡

【実施日時】 平成29年5月5日（祝・金）

【事業の対象者】 市民

【収入】 0円

【支出】 交通費 9,700円 消耗品費 9,873円

【実施内容】 ② 和泉ワールドフェスティバル

毎年防災コーナーを出展。今年度は会場が変わったこともあり、少しメイン会場から離れた位置になりましたが、スマホの多言語アプリの紹介など、新しい試みをしたところ、興味を持っていただき、賛助会員も増えました。

舞台でも15分ほどお時間をいただき、英語、中国語で「緊急地震速報」や「避難所」を何とかなど、みなさん熱心に聞いてくれました。

【実施場所】 和泉中央 エコールいずみ アムゼ広場

【実施日時】 平成29年6月11日（土）

【事業の対象者】 市民

【収入】 0円

【支出】 交通費 9,000円 消耗品費 800円

【実施内容】③ 和泉支援学校PTA秋まつり

毎年、障がい者の避難所での食事体験をテーマに、体育館の中をパーティーションで仕切り、実際に食べてもらう企画を検討しています。昨年好評だった「ビニール袋クッキング」を内容をアレンジして実施。保護者だけでなく、参加していたボランティアさんも大変興味を持って積極的に手伝ってくれました。

【実施場所】 和泉支援学校 体育館

【実施日時】 平成29年11月11日（土）

【事業の対象者】 和泉支援学校のPTA、生徒、卒業生、近隣住民

【収入】 25,920円

【支出】 交通費 11,600円 消耗品費 11,428円

【実施内容】④ 和泉ボランティア・市民活動フェスタ

毎年参加している和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」主催のフェスタに出展。今年は、車いす体験コーナーの応援をすることになったので、並行して緊急時の人の搬送法や「JINRIKIの紹介」を実施。学生ボランティアさんも関心を持って、積極的にお手伝いしてくれました。

【実施場所】 和泉中央 エコールいずみ アムゼ広場

【実施日時】 平成29年11月12日（日）

【事業の対象者】 市民

【収入】 0円

【支出】 交通費 6,000円 消耗品費 7,471円

【実施内容】⑤ 男女共同参画社会づくり講座

今回初めて一般市民対象の防災講座の依頼があり、「楽しく学ぶ！家族を守るための防災講座」を実施しました。若いお母さんの参加も多く、子どもを守る、親を守る両方の立場としては切実な悩みのようなものでした。

日々の生活に追われている若い世代に向けて、防災は特別なことではない「いつもの生活にちょっとだけプラスする、暮らしの中に「防災」を取り入れる」ことがコツだということを知りやすく説明しました。

【実施場所】 和泉シティプラザ 研修室

【実施日時】 平成30年3月23日（金）

【事業の対象者】 市民

【収入】 15,000円

【支出】 報償費 2,250円

(4) 大規模災害時におけるCAN(Computer Aided Network)の研究並びに開発事業

【実施内容】 今年度もポータルサイトの立ち上げには至らなかったが、facebookとスタッフブログを連動させ、できるだけたくさんの情報を発信するよう努力しました。

また、月に一度のメルマガ配信（計12回）を実施し、防災の啓発と東日本大震災の復興情報、熊本地震災害ボランティア情報の発信を行いました。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 市民

【収 入】 0円

【支 出】 通信費 1,458円 報償費 10,000円

(5) 諸活動に係る団体への相談・支援事業

【実施内容】 ① 和泉市手をつなぐ親の会 広報業務における提案、作業支援

ホームページやSNSでの発信が、なぜ必要なのか、どうしたら簡単にできるかなど、広報業務全般における相談に対応。専門知識が必要な部分はサポートし、できるだけ役員に負担がかからないような方法を一緒に考えます。

【実施場所】 当法人事務所

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 和泉市手をつなぐ親の会会員

【収 入】 54,622円

【支 出】 通信費 4,622円 報償費 12,500円

【実施内容】 ② チャレンジドネット・いずみ 広報業務における提案、作業支援

コミュニティカフェや自立訓練事業、生活支援センターなどやたくさんの事業をわかりやすく、低コストで、作業の負担もかからないような方法を一緒に考え、サポートしていきます。

法人の基盤を固め、災害時には障がい者支援センターのような拠点になるよう協働していきます。

【実施場所】 コミュニティカフェ “オアシス”

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 チャレンジドネット・いずみ及び関連団体

【収 入】 56,004円

【支 出】 通信費 6,004円 報償費 12,500円

【実施内容】 ③ 街歩き被災シミュレーション

昨年、聴覚障がい者のための防災訓練で協働した「聴覚障がい者のための防災ネットワーク」より「街歩き被災シミュレーション」を実施したいとの相談があり、一緒に実施しました。防災マップ作りまでは進まなかったが、日頃から車友進であまり歩かないので、どれだけ危険箇所があるか勉強になりました。

【実施場所】 和泉市人権文化センター近隣

【実施日時】 平成29年11月5日（日）

【事業の対象者】 聴覚障がい者及び支援者

【収 入】 0円

【支 出】 交通費 4,000円

【実施内容】 ④ すいせん共同作業所 広報業務における提案、作業支援

関係機関や保護者の方への情報発信をすることで、少しでも施設のことを理解してもらえるよう、わかりやすい見せ方を一緒に考え、サポートしていきます。

【実施場所】 すいせん共同作業所

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 すいせん共同作業所関係者

【収入】 31,549 円

【支出】 通信費 7,549 円 租税公課 200 円 報償費 6,000 円

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

他施設への広報活動や会員のスキルアップのために外部の研修への参加

- ① 和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」への登録、活動紹介誌、情報誌、ホームページ等へ掲載
- ② 会員のスキルアップのため、大阪府社会福祉協議会の災害ボランティアコーディネーター研修会に参加 (2019/1/31)

【収入】 0 円

【支出】 0 円

IV 社員総会の開催状況

(日 時) 30 年 5 月 27 日 (日) 13 時から 15 時
(場 所) 和泉シティプラザ 4F IT 学習室 B
(出席者数) 14 名 (総正会員数 14 名)
(内 容) 平成 29 年度活動報告、平成 30 年度活動計画、他

V 理事会その他の役員会の開催状況

第 1 回理事会

(日 時) 30 年 5 月 27 日 (日) 10 時から 11 時 30 分
(場 所) コミュニティカフェ “オアシス”
(出席者数) 5 名
(内 容) 総会準備 (決算確認など) 行政や社協との連携について、他

第 2 回理事会

(日 時) 30 年 9 月 16 日 (日) 16 時から 17 時 30 分
(場 所) 当法人事務所
(出席者数) 3 名
(内 容) 下半期の活動予定、台風 21 号への対応について、和泉市事業者登録について

第 3 回理事会

(日 時) 31 年 3 月 22 日 12 時 30 分から 14 時
(場 所) コミュニティカフェ “オアシス”
(出席者数) 4 名
(内 容) 和泉市委託事業について、備品の購入について、31 年度の方向性について、他